

みみちゃん通信 NO.10 岐聖大ふそく幼稚園発行

今年のお正月は雪もなく暖かな毎日でしたが、皆さんいかがお過ごしだったでしょうか。1月行く月、2月逃げる月、3月去る月と言われるように、3学期は瞬く間に過ぎていきます。

みみちゃんクラブも残すところあと1回となりました。今回と次回は、少しお母さんの元を離れて、自分で好きな遊びを見つけたり、お友達とかかわりをもったりするような機会を用意しました。お子さんがどんな動きやかかわり方をされるのか、その様子を温かい目で見守ってあげてください。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

仲良しになれる言葉「貸して」「入れて」「いいよ」

おうちでは自分の好きなおもちゃを自由に使うことができます。でも集団の中では自分と同じ思いの子がいて、同じおもちゃが使いたくて取り合うような場面もしばしば見られます。そんな時、「貸して」と言って「いいよ」とおもちゃを譲ってもらったり、ちょっと気持ちには反するけれど譲ってあげたりできたら、仲良しになることができるのです。楽しそうな遊びを一緒にしたい時は、「入れて」といえば仲間に入ることもできます。

ひとりで遊ぶよりも誰かと一緒に遊ぶことが楽しい、お母さんではなくて同年齢の友達を求めることも大切な成長の過程といえます。そんな言葉が自然に使えよう、ちょっと声をかけてあげてください。



トイレの使い方 ー自分でもできるよう練習してみましょうー



入園まであと2ヵ月ちょっととなり、排泄習慣がなかなかできなくて心配という方もみえるかと思います。寒い時期なので、つい間に合わなかったり、オムツ外しの機会を逃したりされた方もあるのではないのでしょうか。焦りは禁物で、心と体の準備が整えば必ずできるようになることを信じてあげましょう。そのために、みんながトイレで排泄をしていることや、トイレですると気持ちがいいことを大人の行動や絵本などでも繰り返し伝えてください。そして、トイレでできた時にはとびきりの笑顔で褒めてあげましょう。成功のカギは、“褒めること”です。